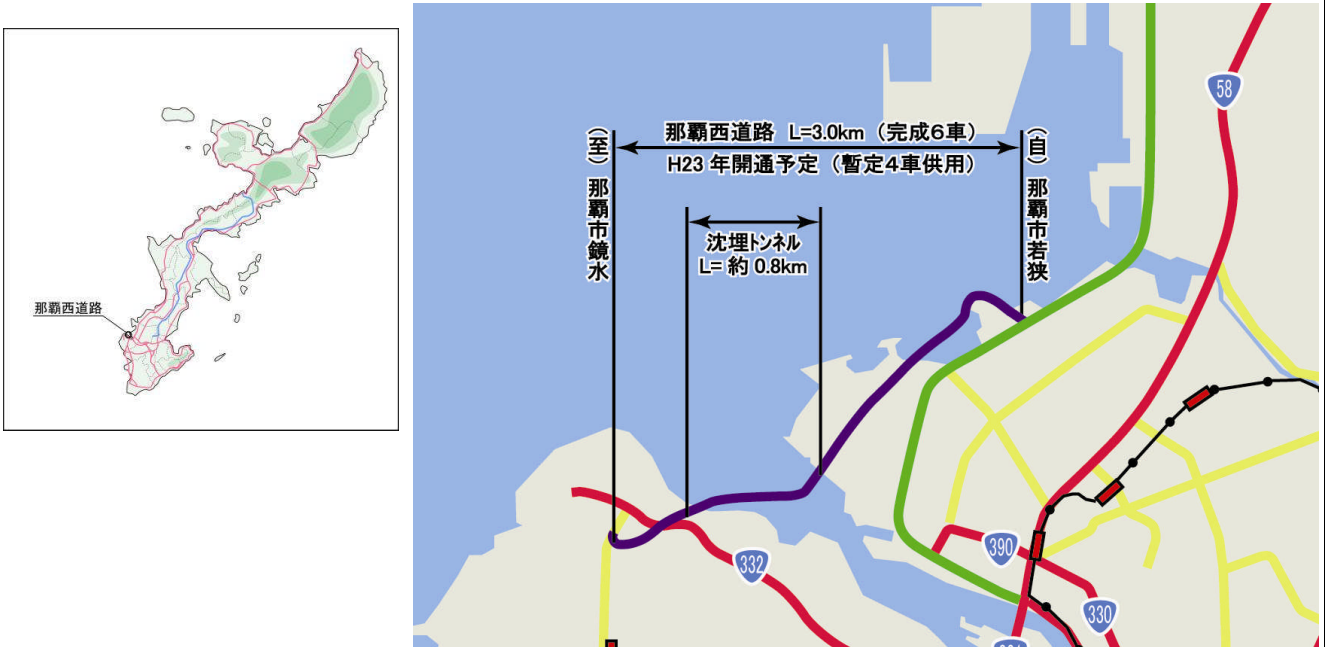


再評価結果（平成23年度事業継続箇所）（案）

担当課：

担当課長名：

事業名	一般国道58号 那覇西道路	事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局
起終点	自：沖縄県那覇市若狭 至：沖縄県那覇市鏡水			延長	3.0km
事業概要					
一般国道58号は、沖縄本島西海岸を南北に走る交通の大動脈であり、沖縄本島中南部の人口集中地域や県都那覇市と、沖縄本島北部の観光・リゾート地域及び農山村地域を結ぶ地域高規格道路である。那覇西道路は沖縄西海岸道路の一翼を担い、本島北部と中南部を結ぶ主要幹線道路となり、那覇市街部及び周辺部の交通混雑緩和、那覇港、那覇空港へのアクセス向上を目的とし平成13年度に事業化された。					
H13年度事業化		H13年度都市計画決定		H14年度用地着手	
H13年度工事着手					
全体事業費	1,678億円		事業進捗率	99.7%	供用済延長
計画交通量	50,000台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.0 (残事業) 138.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 14/1,948億円 〔事業費 : 3.8/1,937億円 維持管理費 : 11/11億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,989/ 1,989億円 〔走行時間短縮便益 : 1,527/1,527億円 走行経費減少便益 : 277/277億円 交通事故減少便益 : 185/185億円〕	基準年 平成22年	
感度分析の結果					
残事業について感度分析を実施					
交通量変動	B/C=127.8 (交通量-10%)		B/C=150.8 (交通量+10%)		
事業費変動	B/C=134.7 (事業費+10%)		B/C=141.9 (事業費-10%)		
事業期間変動	B/C=136.7 (事業期間+20%)		B/C=138.3 (事業期間-20%)		
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保					
・並行路線である国道58号に集中する交通が分散し、並行区間の交通量が50%減少。渋滞損失時間が60%削減。					
・那覇空港から那覇新港までの所要時間が56%短縮。【27分→12分】(未整備→完成6車線)					
・国道58号の平均旅行速度が34%上昇。					
②個性ある地域の形成					
・那覇港は港湾に加え、ビーチ等の総合的な空間整備を計画しており、那覇西道路が供用することで利便性の向上が期待される。					
③安全で安心できる暮らしの確保					
・那覇空港周辺から第3次医療施設である浦添総合病院への所要時間が約17%短縮。【54分→45分】(未整備→完成6車線)					
④地球環境の保全					
・CO2排出量が約0.7万t/年削減(約0.44%)削減【158.2万t/年→157.5万t/年】(未整備→完成6車線)					
⑤生活環境の改善・保全					
・NOx排出量が約21.99t/年削減(約25.22%)削減【87.20t/年→65.21t/年】(未整備→完成6車線)					
・SPM排出量が約2.19t/年削減(約26.61%)削減【8.23t/年→6.04t/年】(未整備→完成6車線)					
関係する地方公共団体等の意見					
沖縄西海岸道路は、沖縄本島の道路網の骨格となる地域骨格道路であり、車社会である本県の振興発展に極めて重要な役割を担うものである。					
現在、延長約50kmの全長の各区間にて鋭意事業を推進されているが、暫定供用している一般国道331号豊見城道路や糸満道路の各区間においては、渋滞緩和や豊崎タウンへの企業立地促進などの事業効果が発現されており、事業の投資効果の有効性が明らかとなっている。また、一般国道58号読谷道路についても沿道には役場や運動公園などの公共施設や大型の商業施設も整備されており、地域活性化につながると期待されている。					
このように各区間の暫定的な部分供用においても事業効果が明らかになっていることから、全線を結ぶ早期整備が必要と考える。					
したがって、対応方針(原案)のとおり事業継続に同意する。					

事業評価監視委員会の意見	
・対応方針（原案）に対して審議を行なった結果、「事業継続」で了承された。	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
・那覇空港は旅客数と航空貨物量、那覇港は取扱貨物量ともに横ばい。那覇空港と那覇港の一体的運用による貨物輸送の効率化も検討されており、那覇西道路が整備されることで効果発現に大きく寄与する。 ・並行する国道58号は、交通量が7万台/日、混雑度は1.5を超えている。 ・ピーク時旅行速度は14.3km/hと、全国ワースト1位となっている。 ・死傷事故率が300件/億台キロを超える箇所が3箇所存在している。	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
・事業進捗率は99.7%、用地取得率は100%（平成22年度末見込み）。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
・平成23年の全線暫定4車線供用に向け事業を継続中。	
施設の構造や工法の変更等	
・工法の変更等によるコスト縮減に努めながら事業を推進。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	
以上の点を勘案し、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。	
事業概要図	
	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道５８号 那覇西道路
事業主体	沖縄総合事務局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの指標
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	費用便益比（ B/C ）＝１．０（経済的純現在価値（ $B-C$ ）＝４１億円、経済的内部収益率（ $EIRR$ ）＝４．１％）

●事業の効果や必要性の評価評価に対応する事後評価項目

政策目標	指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑な モビリティの 確保	● 現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率	当該区間及び並行区間について：国道５８号、国道３３１号、国道３３２号 当該区間及び並行区間の渋滞損失時間：整備なし226.16万人・時間/年、整備あり91.98万人・時間/年 並行区間の渋滞損失削減率：約6割削減
	■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道58号（区間：明治橋～泊交差点）の旅行速度 ・現況（国道58号）： 17.9 km/h ・将来（国道58号）： 23.9 km/h【6.0km/h改善】
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上で踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	国道58号を利用する既存バスルートの定時性の確保が期待される。 ⇒那覇バス、沖縄バス、東陽バス、琉球バスが運行【国道58号（明治橋） 系統数：15系統、便数：計915便／日（平日）】
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	那覇市役所から那覇空港までの旅行時間 ・現況（国道58号）： 23分 ・将来（完成供用）： 15分【8分短縮】
	物流効率化 の支援	那覇空港から那覇新港までの旅行時間 ・現況（国道58号）： 27分 ・将来（完成供用）： 12分【15分短縮】
		那覇新港から那覇空港までの旅行時間 ・現況（国道58号）： 27分 ・将来（完成供用）： 12分【15分短縮】
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	
		沖縄県の広域道路マスタープランにおいて、那覇都市圏における外郭環状道路として位置付けられている。
		那覇港管理組合による那覇港みなとまちづくりマスタープランを支援する。
	□ 中心市街地内で行う事業である	

1. 活力	都市の再生	☐ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	
		☐ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上	
		☐ 対象区間が事業実施前に連絡道路がなかった住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となった	
	国土・地域ネットワークの構築	☐ 高速自動車国道と並行する自専線（A'路線）としての位置づけあり	
		■ 地域高規格道路の位置づけあり	平成6年に「沖縄西海岸道路」が地域高規格道路に指定され、その一部を形成している。
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		☐ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	那覇空港から那覇市役所までの旅行時間 ・現況（国道58号）： 23分 ・将来（完成供用）： 15分【8分短縮】
	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	那覇港管理組合による那覇港みなとまちづくりマスタープランを支援する。
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	那覇空港から新都心へのアクセス向上 ・現況（国道58号）： 25分 ・将来（完成供用）： 17分【8分短縮】
		■ 特別立法に基づく事業である	沖縄振興特別措置法（平成十四年三月三十一日法律第十四号）
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		☐ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		☐ バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
		☐ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	那覇空港から浦添総合病院までの旅行時間 ・現況（国道58号）： 54分 ・将来（完成供用）： 45分【9分短縮】

3. 安全	安全な生活環境の確保	■ 現道等に死傷事故が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	並行する国道58号（イタルダ区間47-101969K）は死傷事故率504.1件/億台キロ
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	並行する国道58号は、第1次緊急輸送道路に位置付けられており、迂回路としての機能が期待される。
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：0.7万t-CO2/年 （整備なし158.2→157.5万t-CO2/年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	※自動車NOx・PM法対策地域指定外（推計結果）評価対象区間（現道/並行区間等）：（那覇西道路） 排出削減量：21.99t/年 排出削減率：約3割削減（整備なし87.20→65.21t/年）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	※自動車NOx・PM法対策地域指定外（推計結果）評価対象区間（現道/並行区間等）：（那覇西道路） 排出削減量：2.20t/年 排出削減率：約3割削減（整備なし8.23→6.04t/年）
		□ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のアライメントとの関係	■ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	那覇市都市計画マスタープランの中で、広域幹線道路として位置づけられている。
		■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	沖縄西海岸道路と一体的に整備する必要あり。
		□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道58号	那覇西道路	L=3.0km	二次改築	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
50,000	6	沖縄総合事務局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成２２年度		
単純合計	1,602億円	26億円	1,627億円
うち残事業分	3.9億円	26億円	30億円
基準年における 現在価値（Ｃ）	1,937億円	11億円	1,948億円
うち残事業分	3.8億円	11億円	14億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成２２年度			
供 用 年	平成２４年度			
単年便益 (初年便益)	73億円	13億円	8.8億円	95億円
基準年における 現在価値（Ｂ）	1,527億円	277億円	185億円	1,989億円
うち残事業分	1,527億円	277億円	185億円	1,989億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.0
経済的純現在価値（事業全体）	41億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.1%
費用便益比（残事業）	138.2
経済的純現在価値（残事業）	1,974億円
経済的内部収益率（残事業）	951110.0%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	50,000台／日	±10%	127.8～150.8
事業費	3.9億円	±10%	134.7～141.9
事業期間	1年	±20%	136.7～138.3

交通状況の変化

様式－3①

事業名：那覇西道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 [那覇西道路： 3.0km]		交通量※ ¹	[台/日]	50,000	
		走行時間※ ²	[分]	2.9	
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	25	
②主な周 辺道路※ ⁴	現道(国 道58号) ：3.8km	交通量	[台/日]	57,700	39,100
		走行時間	[分]	7.9	6.0
		走行時間費用	[億円/年]	79	41
	国道332 号 ：2.0km	交通量	[台/日]	19,400	3,700
		走行時間	[分]	2.8	2.3
		走行時間費用	[億円/年]	9.4	1.5
	国道331 号 ：4.4km	交通量	[台/日]	31,500	19,100
		走行時間	[分]	7.7	6.1
		走行時間費用	[億円/年]	42	20
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 延長：1,598km		走行時間費用	[億円/年]	6,009	5,973

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,611km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,139	6,060	79

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式－3①

事業名：那覇西道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 〔那覇西道路： 3.0km〕		交通量※ ¹	[台/日]	50,000	
		走行時間※ ²	[分]	2.9	
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	25	
②主な周 辺道路※ ⁴	現道(国 道58号) ：3.8km	交通量	[台/日]	57,700	39,100
		走行時間	[分]	7.9	6.0
		走行時間費用	[億円/年]	79	41
	国道332 号 ：2.0km	交通量	[台/日]	19,400	3,700
		走行時間	[分]	2.8	2.3
		走行時間費用	[億円/年]	9.4	1.5
	国道331 号 ：4.4km	交通量	[台/日]	31,500	19,100
		走行時間	[分]	7.7	6.1
		走行時間費用	[億円/年]	42	20
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 延長：1.598km		走行時間費用	[億円/年]	6,009	5,973

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,611km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,139	6,060	79

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：那覇西道路

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	H22		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 ☒ (H42)		
		複数時点での推計 ☐		
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
	推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
	開発交通量の 考慮	無	☒	
		有	☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
	配分交通量の 推計手法	Q-V式を用いた配分	☐	
		転換率式を用いた配分	☐	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	☐	
		簡易手法	☐	
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
			その他()	
		簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	☒		
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax～Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線等が混在 した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重 平均速度」を用いた。			
	最終配分の速度	☐		
	採用理由を記載			
	その他()	☐		

(3)

	項目	チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	■	
		考慮する	□	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	() %
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	■	
		考慮する	□	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	□
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない	■	
		考慮する	□	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	() 日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係設定の考え方を記載	
			交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定
	その他 ()	□		
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
独自に設定した値を使用		□		
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	■	
		独自に設定した値を使用	□	
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	■	
		中央分離帯の有無を考慮しない	□	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	■		
	考慮する	□		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

(4)

[illegible]

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：那覇西道路(事業全体)

基準年 H 22

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.18	3.00	0.54

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
－20年目	H 4	2.0258	103.4	0.61	1.1		
－19年目	H 5	1.9479	103.7	1.6	2.7		
－18年目	H 6	1.8730	103.6	3.9	6.4		
－17年目	H 7	1.8009	103.0	3.3	5.3		
－16年目	H 8	1.7317	102.4	10	16		
－15年目	H 9	1.6651	103.4	36	53		
－14年目	H 10	1.6010	102.8	84	120		
－13年目	H 11	1.5395	101.3	64	89		
－12年目	H 12	1.4802	99.7	92	125		
－11年目	H 13	1.4233	98.4	87	115		
－10年目	H 14	1.3686	96.6	116	150		
－9年目	H 15	1.3159	95.4	154	194		
－8年目	H 16	1.2653	94.4	176	216		
－7年目	H 17	1.2167	93.2	157	187		
－6年目	H 18	1.1699	92.5	97	112		
－5年目	H 19	1.1249	91.7	138	155		
－4年目	H 20	1.0816	91.3	140	151		
－3年目	H 21	1.0400	91.3	138	144		
－2年目	H 22	1.0000	91.3	99	99		
－1年目	H 23	0.9615	91.3	3.9	3.8		
供用開始年次	H 24	0.9246	91.3			0.51	0.48
1年目	H 25	0.8890	91.3			0.51	0.46
2年目	H 26	0.8548	91.3			0.51	0.44
3年目	H 27	0.8219	91.3			0.51	0.42
4年目	H 28	0.7903	91.3			0.51	0.41
5年目	H 29	0.7599	91.3			0.51	0.39
6年目	H 30	0.7307	91.3			0.51	0.38
7年目	H 31	0.7026	91.3			0.51	0.36
8年目	H 32	0.6756	91.3			0.51	0.35
9年目	H 33	0.6496	91.3			0.51	0.33
10年目	H 34	0.6246	91.3			0.51	0.32
11年目	H 35	0.6006	91.3			0.51	0.31
12年目	H 36	0.5775	91.3			0.51	0.30
13年目	H 37	0.5553	91.3			0.51	0.29
14年目	H 38	0.5339	91.3			0.51	0.27
15年目	H 39	0.5134	91.3			0.51	0.26
16年目	H 40	0.4936	91.3			0.51	0.25
17年目	H 41	0.4746	91.3			0.51	0.24
18年目	H 42	0.4564	91.3			0.51	0.23
19年目	H 43	0.4388	91.3			0.51	0.23
20年目	H 44	0.4220	91.3			0.51	0.22
21年目	H 45	0.4057	91.3			0.51	0.21
22年目	H 46	0.3901	91.3			0.51	0.20
23年目	H 47	0.3751	91.3			0.51	0.19
24年目	H 48	0.3607	91.3			0.51	0.19
25年目	H 49	0.3468	91.3			0.51	0.18
26年目	H 50	0.3335	91.3			0.51	0.17
27年目	H 51	0.3207	91.3			0.51	0.16
28年目	H 52	0.3083	91.3			0.51	0.16
29年目	H 53	0.2965	91.3			0.51	0.15
30年目	H 54	0.2851	91.3			0.51	0.15
31年目	H 55	0.2741	91.3			0.51	0.14
32年目	H 56	0.2636	91.3			0.51	0.14
33年目	H 57	0.2534	91.3			0.51	0.13
34年目	H 58	0.2437	91.3			0.51	0.13
35年目	H 59	0.2343	91.3			0.51	0.12
36年目	H 60	0.2253	91.3			0.51	0.12
37年目	H 61	0.2166	91.3			0.51	0.11
38年目	H 62	0.2083	91.3			0.51	0.11
39年目	H 63	0.2003	91.3			0.51	0.10
40年目	H 64	0.1926	91.3			0.51	0.10
41年目	H 65	0.1852	91.3			0.51	0.10
42年目	H 66	0.1780	91.3			0.51	0.09
43年目	H 67	0.1712	91.3			0.51	0.09
44年目	H 68	0.1646	91.3			0.51	0.08
45年目	H 69	0.1583	91.3			0.51	0.08
46年目	H 70	0.1522	91.3			0.51	0.08
47年目	H 71	0.1463	91.3			0.51	0.08
48年目	H 72	0.1407	91.3			0.51	0.07
49年目	H 73	0.1353	91.3	-46	-6.2	0.51	0.07
合 計				1,556	1,937	26	11

単純事業費計		1,602	26
--------	--	-------	----

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：那覇西道路(事業全体)

基準年 H 22

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.18	3.00	0.54

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
－1年目	H 23	0.9615	91.3	3.9	3.8		
供用開始年次	H 24	0.9246	91.3			0.51	0.48
1年目	H 25	0.8890	91.3			0.51	0.46
2年目	H 26	0.8548	91.3			0.51	0.44
3年目	H 27	0.8219	91.3			0.51	0.42
4年目	H 28	0.7903	91.3			0.51	0.41
5年目	H 29	0.7599	91.3			0.51	0.39
6年目	H 30	0.7307	91.3			0.51	0.38
7年目	H 31	0.7026	91.3			0.51	0.36
8年目	H 32	0.6756	91.3			0.51	0.35
9年目	H 33	0.6496	91.3			0.51	0.33
10年目	H 34	0.6246	91.3			0.51	0.32
11年目	H 35	0.6006	91.3			0.51	0.31
12年目	H 36	0.5775	91.3			0.51	0.30
13年目	H 37	0.5553	91.3			0.51	0.29
14年目	H 38	0.5339	91.3			0.51	0.27
15年目	H 39	0.5134	91.3			0.51	0.26
16年目	H 40	0.4936	91.3			0.51	0.25
17年目	H 41	0.4746	91.3			0.51	0.24
18年目	H 42	0.4564	91.3			0.51	0.23
19年目	H 43	0.4388	91.3			0.51	0.23
20年目	H 44	0.4220	91.3			0.51	0.22
21年目	H 45	0.4057	91.3			0.51	0.21
22年目	H 46	0.3901	91.3			0.51	0.20
23年目	H 47	0.3751	91.3			0.51	0.19
24年目	H 48	0.3607	91.3			0.51	0.19
25年目	H 49	0.3468	91.3			0.51	0.18
26年目	H 50	0.3335	91.3			0.51	0.17
27年目	H 51	0.3207	91.3			0.51	0.16
28年目	H 52	0.3083	91.3			0.51	0.16
29年目	H 53	0.2965	91.3			0.51	0.15
30年目	H 54	0.2851	91.3			0.51	0.15
31年目	H 55	0.2741	91.3			0.51	0.14
32年目	H 56	0.2636	91.3			0.51	0.14
33年目	H 57	0.2534	91.3			0.51	0.13
34年目	H 58	0.2437	91.3			0.51	0.13
35年目	H 59	0.2343	91.3			0.51	0.12
36年目	H 60	0.2253	91.3			0.51	0.12
37年目	H 61	0.2166	91.3			0.51	0.11
38年目	H 62	0.2083	91.3			0.51	0.11
39年目	H 63	0.2003	91.3			0.51	0.10
40年目	H 64	0.1926	91.3			0.51	0.10
41年目	H 65	0.1852	91.3			0.51	0.10
42年目	H 66	0.1780	91.3			0.51	0.09
43年目	H 67	0.1712	91.3			0.51	0.09
44年目	H 68	0.1646	91.3			0.51	0.08
45年目	H 69	0.1583	91.3			0.51	0.08
46年目	H 70	0.1522	91.3			0.51	0.08
47年目	H 71	0.1463	91.3			0.51	0.08
48年目	H 72	0.1407	91.3			0.51	0.07
49年目	H 73	0.1353	91.3	0.00	0.00	0.51	0.07
合 計				3.9	3.8	26	11

単純事業費計		3.9	26
--------	--	-----	----

便益の現在価値算定表

箇所名： 那覇西道路

年次	年度 (基準年) H 22	総走行台和の年次別伸び率 (沖縄ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレータ H22 91.3	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 24	1.00566	0.99914	1.00427	0.9246	91.3	57	8.6	7.7	73	68	11	1.1	1.6	13	12	8.8	8.2	95	88
1年目	H 25	1.00563	0.99914	1.00425	0.8890	91.3	57	8.6	7.7	73	65	11	1.1	1.6	13	12	8.9	7.9	96	85
2年目	H 26	1.00560	0.99914	1.00423	0.8548	91.3	58	8.5	7.7	74	63	11	1.1	1.6	13	11	8.9	7.6	96	82
3年目	H 27	1.00557	0.99914	1.00421	0.8219	91.3	58	8.5	7.7	74	61	11	1.1	1.6	13	11	9.0	7.4	96	79
4年目	H 28	1.00554	0.99914	1.00420	0.7903	91.3	58	8.5	7.7	74	59	11	1.1	1.6	14	11	9.0	7.1	97	77
5年目	H 29	1.00551	0.99914	1.00418	0.7599	91.3	58	8.5	7.7	75	57	11	1.1	1.6	14	10	9.0	6.9	97	74
6年目	H 30	1.00548	0.99914	1.00416	0.7307	91.3	59	8.5	7.7	75	55	11	1.1	1.6	14	10.0	9.1	6.6	98	71
7年目	H 31	1.00545	0.99914	1.00414	0.7026	91.3	59	8.5	7.7	75	53	11	1.1	1.6	14	9.6	9.1	6.4	98	69
8年目	H 32	1.00551	1.00114	1.00461	0.6756	91.3	59	8.5	7.7	76	51	11	1.1	1.6	14	9.3	9.2	6.2	98	67
9年目	H 33	1.00548	1.00114	1.00459	0.6496	91.3	60	8.5	7.7	76	49	11	1.1	1.6	14	9.0	9.2	6.0	99	64
10年目	H 34	1.00545	1.00114	1.00457	0.6246	91.3	60	8.5	7.7	76	48	11	1.1	1.6	14	8.7	9.2	5.8	99	62
11年目	H 35	1.00542	1.00114	1.00455	0.6006	91.3	60	8.5	7.7	77	46	11	1.1	1.6	14	8.4	9.3	5.6	100	60
12年目	H 36	1.00539	1.00114	1.00453	0.5775	91.3	61	8.5	7.7	77	44	11	1.1	1.6	14	8.1	9.3	5.4	100	58
13年目	H 37	1.00537	1.00113	1.00451	0.5553	91.3	61	8.5	7.7	77	43	11	1.1	1.6	14	7.8	9.4	5.2	101	56
14年目	H 38	1.00534	1.00113	1.00449	0.5339	91.3	61	8.5	7.7	78	41	11	1.1	1.6	14	7.5	9.4	5.0	101	54
15年目	H 39	1.00531	1.00113	1.00447	0.5134	91.3	62	8.6	7.7	78	40	11	1.1	1.6	14	7.3	9.4	4.9	102	52
16年目	H 40	1.00528	1.00113	1.00445	0.4936	91.3	62	8.6	7.7	78	39	12	1.1	1.6	14	7.0	9.5	4.7	102	50
17年目	H 41	1.00525	1.00113	1.00443	0.4746	91.3	62	8.6	7.7	79	37	12	1.1	1.6	14	6.8	9.5	4.5	103	49
18年目	H 42	0.99121	0.99661	0.99229	0.4564	91.3	63	8.6	7.7	79	36	12	1.1	1.6	14	6.6	9.6	4.4	103	47
19年目	H 43	0.99114	0.99660	0.99223	0.4388	91.3	62	8.6	7.7	78	34	12	1.1	1.6	14	6.3	9.5	4.2	102	45
20年目	H 44	0.99106	0.99659	0.99217	0.4220	91.3	62	8.5	7.7	78	33	11	1.1	1.6	14	6.0	9.4	4.0	101	43
21年目	H 45	0.99098	0.99658	0.99211	0.4057	91.3	61	8.5	7.7	77	31	11	1.1	1.6	14	5.7	9.3	3.8	101	41
22年目	H 46	0.99089	0.99656	0.99204	0.3901	91.3	61	8.5	7.6	77	30	11	1.1	1.6	14	5.4	9.3	3.6	100	39
23年目	H 47	0.99081	0.99655	0.99198	0.3751	91.3	60	8.4	7.6	76	29	11	1.1	1.6	14	5.2	9.2	3.5	99	37
24年目	H 48	0.99073	0.99654	0.99191	0.3607	91.3	59	8.4	7.6	75	27	11	1.1	1.6	14	4.9	9.1	3.3	98	35
25年目	H 49	0.99064	0.99653	0.99185	0.3468	91.3	59	8.4	7.5	75	26	11	1.1	1.6	14	4.7	9.1	3.1	97	34
26年目	H 50	0.99055	0.99652	0.99178	0.3335	91.3	58	8.3	7.5	74	25	11	1.1	1.6	13	4.5	9.0	3.0	97	32
27年目	H 51	0.99046	0.99650	0.99171	0.3207	91.3	58	8.3	7.5	74	24	11	1.1	1.5	13	4.3	8.9	2.9	96	31
28年目	H 52	0.99037	0.99649	0.99164	0.3083	91.3	57	8.3	7.5	73	22	11	1.1	1.5	13	4.1	8.9	2.7	95	29
29年目	H 53	0.99027	0.99648	0.99157	0.2965	91.3	57	8.3	7.4	72	21	11	1.1	1.5	13	3.9	8.8	2.6	94	28
30年目	H 54	0.99018	0.99647	0.99150	0.2851	91.3	56	8.2	7.4	72	20	10	1.1	1.5	13	3.7	8.7	2.5	93	27
31年目	H 55	0.99008	0.99645	0.99143	0.2741	91.3	56	8.2	7.4	71	19	10	1.1	1.5	13	3.5	8.6	2.4	93	25
32年目	H 56	0.98998	0.99644	0.99135	0.2636	91.3	55	8.2	7.3	71	19	10	1.1	1.5	13	3.4	8.6	2.3	92	24
33年目	H 57	0.98988	0.99643	0.99128	0.2534	91.3	54	8.1	7.3	70	18	10	1.1	1.5	13	3.2	8.5	2.2	91	23
34年目	H 58	0.98978	0.99642	0.99120	0.2437	91.3	54	8.1	7.3	69	17	10	1.1	1.5	13	3.1	8.4	2.1	90	22
35年目	H 59	0.98967	0.99640	0.99112	0.2343	91.3	53	8.1	7.2	69	16	9.9	1.1	1.5	12	2.9	8.4	2.0	90	21
36年目	H 60	0.98956	0.99639	0.99104	0.2253	91.3	53	8.0	7.2	68	15	9.8	1.1	1.5	12	2.8	8.3	1.9	89	20
37年目	H 61	0.98945	0.99638	0.99096	0.2166	91.3	52	8.0	7.2	67	15	9.7	1.1	1.4	12	2.7	8.2	1.8	88	19
38年目	H 62	0.98992	0.99644	0.99131	0.2083	91.3	52	8.0	7.2	67	14	9.6	1.1	1.4	12	2.5	8.2	1.7	87	18
39年目	H 63	0.98988	0.99643	0.99128	0.2003	91.3	51	8.0	7.1	66	13	9.5	1.1	1.4	12	2.4	8.1	1.6	86	17
40年目	H 64	0.98984	0.99642	0.99125	0.1926	91.3	51	7.9	7.1	66	13	9.4	1.1	1.4	12	2.3	8.0	1.5	86	16
41年目	H 65	0.98980	0.99642	0.99122	0.1852	91.3	50	7.9	7.1	65	12	9.3	1.1	1.4	12	2.2	7.9	1.5	85	16
42年目	H 66	0.98978	0.99642	0.99120	0.1780	91.3	50	7.9	7.0	65	11	9.2	1.1	1.4	12	2.1	7.9	1.4	84	15
43年目	H 67	0.98976	0.99641	0.99119	0.1712	91.3	49	7.8	7.0	64	11	9.2	1.1	1.4	12	2.0	7.8	1.3	83	14
44年目	H 68	0.98974	0.99641	0.99118	0.1646	91.3	49	7.8	7.0	63	10	9.1	1.1	1.4	12	1.9	7.7	1.3	83	14
45年目	H 69	0.98974	0.99641	0.99117	0.1583	91.3	48	7.8	6.9	63	10.0	9.0	1.1	1.4	11	1.8	7.7	1.2	82	13
46年目	H 70	0.98975	0.99641	0.99118	0.1522	91.3	48	7.7	6.9	62	9.5	8.9	1.1	1.4	11	1.7	7.6	1.2	81	12
47年目	H 71	0.98977	0.99642	0.99119	0.1463	91.3	47	7.7	6.9	62	9.0	8.8	1.1	1.4	11	1.7	7.5	1.1	81	12
48年目	H 72	0.98980	0.99642	0.99122	0.1407	91.3	47	7.7	6.9	61	8.6	8.7	1.1	1.4	11	1.6	7.5	1.1	80	11
49年目	H 73	0.98978	0.99642	0.99121	0.1353	91.3	46	7.7	6.9	61	8.2	8.6	1.1	1.4	11	1.5	7.4	1.0	79	11
合 計							2,810	413	372	3,595	1,527	522	54	77	653	277	436	185	4,684	1,989